

仕様書

1 構成

ア	高度救急処置シミュレーター	1台
a	人形本体	1体
b	ウェア(上下)	1式
c	ソフトケース(収納袋)	1袋
d	充電器	1台
e	充電器用電源コード	1本
f	不整脈シミュレーター(リモコン)	1台
g	リモコン用充電電池	1個
h	人形用充電電池	1個
l	外部受光端子	1個
j	シリコーンスプレー	1本
k	注射筒(50ml)	1本
l	模擬血液(500ml)	1本
m	肺バッグ(右用・左用)	各1枚
n	模擬異物	1ケース
o	模擬餅	1個
p	血管チューブ(20本入)	1組
q	ベビーパウダー	1個
r	パッドアダプター (レールダルFR-2)	1組

2 仕様

ア 高度救急処置シミュレーター

- ① 気道管理 気管挿管をはじめ片肺挿管、胃膨満状態の確認、聴診器による送気音の確認ができること。
気管挿管チューブ挿入の深さ確認ができること。
舌根沈下による気道閉塞が再現できること。
- ② 静脈穿刺と輸液 輸血採血の実習がきわめて生体に近いリアルな状態でできること。
- ③ 除細動、心電図モニタリング(不整脈シミュレーター内臓)
心電図波形の種類は15種類以上、波形に付加できる波形は7種類以上選択できること。
コードレスリモコンで指導しながら操作できること。
圧迫深度約5cm以上の胸骨圧迫実施時に胸骨圧迫の波形を心電図に混入させることができること。
経皮ペーシング機能に対応していること。ペーシング操作により、波形が切り替わること。閾値設定可能であること。
除細動の回数設定ができること(最大9回以上)。
VFが3種類以上設定できること。(VF、VFfine、VFveryfine)
Torsades de Pointes波形を設定できること。
- ④ 総頸動脈 心電図に同期した総頸動脈の触知ができること。
パルスチェック重要性の理解ができること。
- ⑤ 胸骨圧迫波形の心電図混入
圧迫深度5cm以上で、胸骨圧迫波形の心電図への混入により、正しい圧迫深度の確認ができること。